

改良型歩行者用砂箱の試用を開始しました

道路部 維持管理研究室

維持管理研究室は札幌開発建設部札幌道路事務所、及びソリトン・コム株式会社と共同で、つるつる路面对策の一環として市内各所に設置されている「歩行者用砂箱」の改良を行い、札幌市内中心部で試用を開始しました。

この砂箱は上部に LED 表示板をもっており、路面に埋設した凍結センサーが路面凍結を感知すると「路面凍結」や「砂散布にご協力ください」等のメッセージを表示する事ができます。また、砂散布をより簡単に行なえるように、従来はビニール袋に小分けされていた防滑材を使用済みの 500ml ペットボトルに詰めて格納しました。

試用期間は 2 月 27 日から今冬終わりまでで、試用期間中に歩行者へのアンケートを行い、改良により砂箱の認知度や利用しやすさがどのように変わったかを調査する予定です。



従来型砂箱



LED 表示板

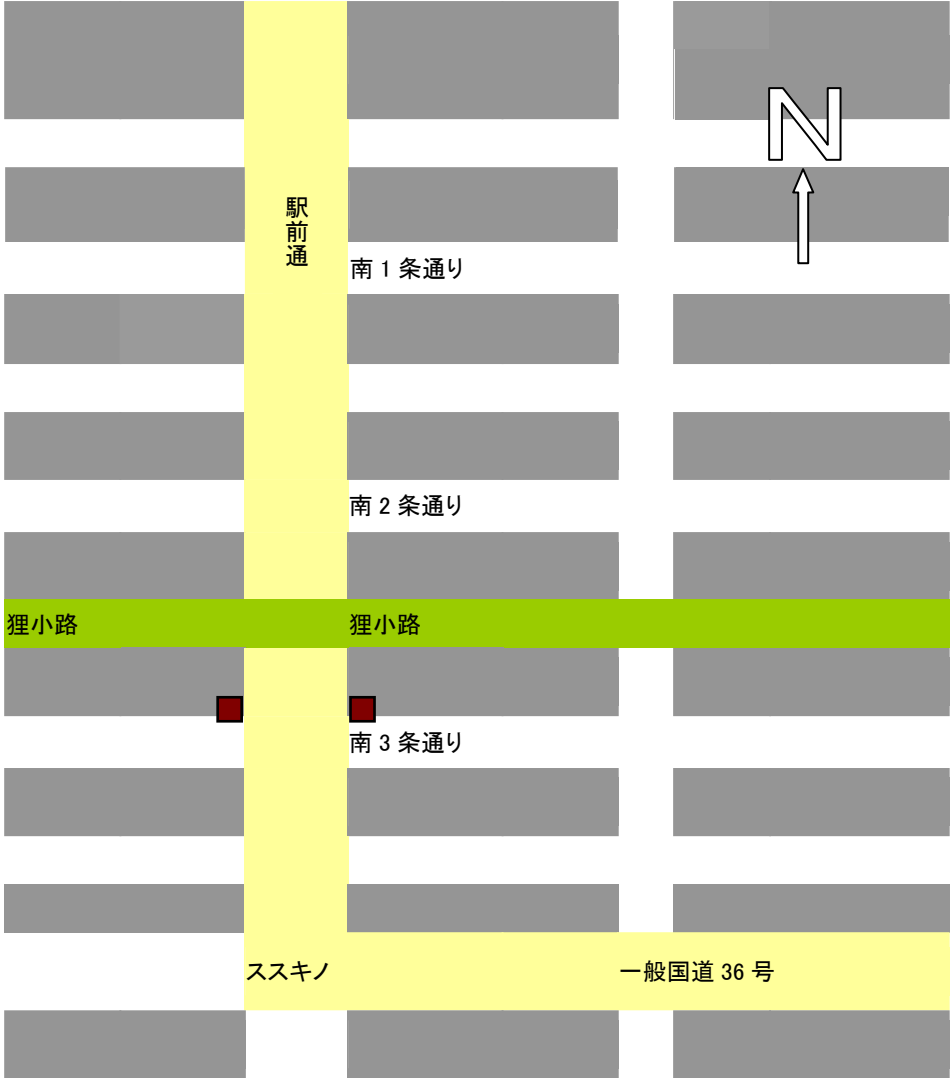


500ml ペットボトルを格納



路面に埋設する凍結感知センサー

改良砂箱設置位置



■ : 改良型砂箱